



聞くと日本の援助で、工費9億米ドルをかけて大成建設により2014年12月に出来たばかりという。飛行機から降りると空気が生暖かい。気温31℃。出口でガイドのコイ



ハノイ着陸前

さんが鯉のぼりの旗を持って出迎え。バスに乗り込んでコイさんからベトナムの事情を聞きながら、窓からハノイ市内観光。



日本の援助で2015年1月完成のホン川の橋を渡る



ホーチミン廟

木が茂っているところには官庁街や大使館が並んでいて人通りも少なく閑静。

旧市街に入るとオートバイが行きかい混雑しているアジアの風景に出会う。夕刻に入り、バスを降りてコイさんの誘導でおっかなびっくりオートバイの群の前をわたりショッピング街を歩く。



世界遺産タンロン(ハノイの旧称)城

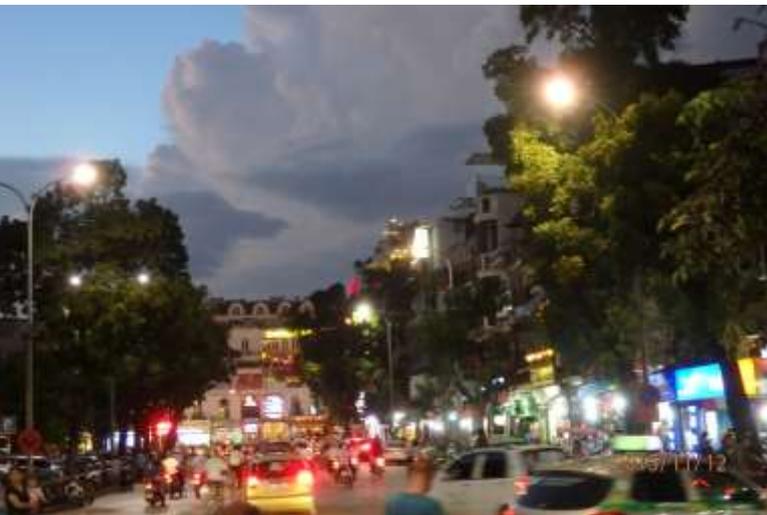


旗の塔



市民の憩いの場・ホアンキエム湖

売り子は若い女性が目立つ。バスに乗り込み一路ハロンに向かう。途中 10 月 28 日に開店したばかりの「イオンモール」を通り過ぎる。商品は殆ど中国製という。



途中、レストランでベトナム料理の夕食。ハノイから180km、4時間のドライブでハロン着。今夜の宿はノボテル ハロンホテル。



ハロン泊

第2日目【11月13(金) ハロン湾クルーズ ハノイ シュムリアップ】 8,089 歩バス180km

バスでホテルを8時出発。15分で港着。ここから3時間の世界遺産ハロン湾クルーズ。中国桂林に連なる石灰岩の絶景。陸のハロン湾と呼ばれた所は2006年に行ったが、海は初めて。ハロンの地名は、ハ＝降



バイチャイ港を出発



ティエンクワン洞窟入り口への通路



漁船が難破した際、漁師がこの穴から入って発見



りる、ロン＝龍を意味する。昔、外敵の侵略に悩まされていたこの地に龍の親子が降り立ち、敵を撃退し宝玉を吹き出したのが奇岩になったという。何でも1969もの島があるという。雨模様の中、岩と海の織りなす墨絵のような風景。時おり船がすれ違う。

途中、ティエンクワン洞窟で下船、400段の階段があるライトアップされた見事な鍾乳洞を見学。洞窟見学

を終えてまた船に戻ってクルーズを続ける。途中、船内でハロン湾海鮮料理をビール片手に昼食。  
ときおり甲板に出て周囲の絶景を見る。多少の雨は苦にならない。奇岩、行き交う船、大型クルーズ船、水  
上飛行機等見飽きない。



洞窟見学後、再び乗船



コイさんによると雌雄岩。見る角度でキスしているよう





目印の鯉のぼりを持ったコイさん

出港地に戻って、バスに乗り昨日と逆にハノイを目指す。ハノイ空港からカンボジア・シェムリアップ空港に飛ぶ。予定した便が遅れそうなのでコイさんの機転で、前の便にギリギリ乗れた。

コイさんには大変お世話になった。とにかく真面目で誠

実。ホテルで別れる時にも「何かあったら電話してください。真夜中でも駆けつけます」と語る。カンボジア・Eビザのことを聞いたらすぐ連絡をとって答えてくれた。親日家で日本にも家族旅行で来たことがあるという。コイさんの結婚式の写真は、渋谷駅南改札西口徒歩3分のフォーのお店「ハノイのホイさん」という料理店に貼りだしてあるという。これまでのガイドの中で一番。



その1 ベトナム編 完